

ありがとう

【教育目標】

○自分の可能性に挑戦し
人のために動ける児童の育成

【合い言葉】

○「ありがとう」でつながる大畑小

発行 森下秀一

2学期も残り一月です

朝夕がめっきり寒くなりました。

山々の色とりどりの紅葉や朝霧に濡れる蜘蛛の巣が、光に照らされ美しく輝いています。子どもたちの服装もすっかり様変わりしました。

でも、中には薄着でがんばっている子もいます。私も子どもの頃、友達と寒さ我慢比べをしていたので、薄着の子どもたちを応援しています。しかし、本人の体調は大切です。くれぐれも無理しすぎないでほしいと思います。

さて、2学期も残り一月となりました。2学期は行事が一番多い学期です。今のところ、新型コロナウイルス感染症も落ち着いており、いろいろな行事が通常どおりに実施できるようになりました。**やっと学校での子どもたちのがんばりを、直接お家の方にも見てもらえるようになってきました。**

フリー参観だった11月19日（金）には、火災対応避難訓練が行われました。同じくフリー参観だった22日（月）には、いきいき芸術体験が行われました。

今回は参加できなかった皆様のために、この2つの行事の様子についてお伝えします。

火災対応避難訓練 ～新しい取組～

学校では、地震や風水害、火災などの災害から不審者侵入などの事件まで、さまざまな状況を想定した避難訓練を実施しています。

あらゆる災害に対して的確に対応するためには、それぞれの災害や事件から想定できる危険を回避するための訓練を繰り返し行っておくことが大切だからです。

今回は、火災対応避難訓練を実施しました。

ここ数年重視しているのは、全てをマニュアル通りに実施するのではなく、**臨機応変に対応する力を高めるための避難訓練にすること**です。

昨年度は、子どもたちに実施の日時を知らせない火災対応避難訓練を実施しました。

今年度は、フリー参観の日に意図的に実施しました。

災害は、いつどんなときにやってくるか分かりません。今回は2名の保護者の方にも参加していただきました。大変ありがとうございました。

今後もいろいろな想定で、避難訓練を実施していきたいと考えています。

さて、火災が発生した際には、安全を確保したうえで室外へ避難するのが基本です。

今年度は、井口教頭からの避難訓練の放送終了後、全員が校庭に避難し校長への報告が終わるまでの時間は1分22秒でした。

抜き打ちの実施だった昨年度より20秒ほど短くなっています。

素早い行動はすばらしかったのですが、残念ながら1回目の放送で避難を開始した学級がありました。

緊急放送は、聞き漏らしを防ぐために2回あるのが基本です。1回目で行動すると、その音で2回目の放送が聞こえないことも考えられます。

反省すべきところはしっかり反省して、次に活かしたいと思います。



集合した後、消防署の方から消火器の使い方を指導していただきました。

【 ①ピンを抜く ②ホースを火元に向ける ③レバーを強くにぎる 】



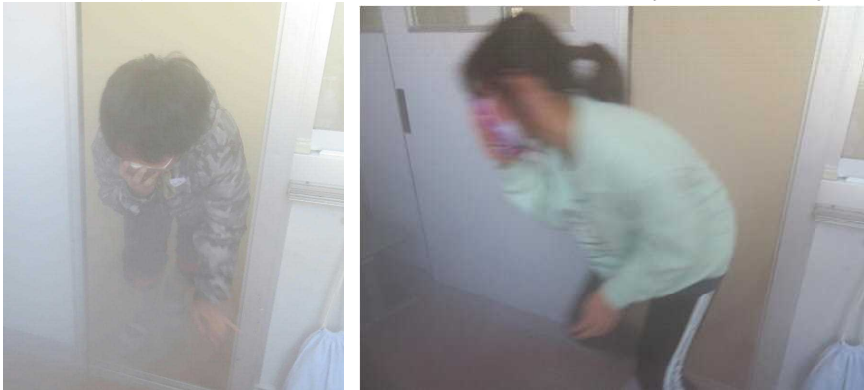
左の写真は、6年生が児童代表として消火器訓練をしている様子です。

落ち着いて、火を消すことができました。

消防士からは、「**火元をほうきで掃くように消す**といいですよ。」とアドバイスがありました。

次は、今年の火災対応避難訓練の目玉である煙体験です。防災担当の一人、富田先生の尽力で実施できました。

まずは、その煙体験の様子を下の写真でご覧ください。



参加された保護者の方は、「全然、前が見えなかった。」と驚いていらっしゃいました。子どもたちも「こんなに見えなくなるとは思わなかった。」「何も見えないので、怖かった。」と感想を話していました。

火災の場合、火傷だけでなく、煙に含まれる一酸化炭素が怖いのです。

一酸化炭素は無色無臭です。だから、煙が見えなくても一酸化炭素が発生している危険性があります。

左は、火災対応避難訓練での大切な合い言葉「**おかしも**」です。命を守るために、「もどらない」を子どもたちにも徹底させようと思います。

お・・・おさない
か・・・かけない
し・・・しゃべらない
も・・・もどらない



最後に私の方から3人の消防士の方に「なぜ、消防士になられたのですか」とインタビューをしました。

3人とも消防士になった動機は違っていました。が、「**人の命を助けたい**」という強い思いが共通していました。

協力いただいた下球磨消防署の皆様へ感謝申し上げます。

今回の火災対応避難訓練では、子どもたちも私たち教師も命を守るための、とても貴重な体験ができました。

本物にふれる機会を いきいき芸術体験～清和文楽～

熊本県では、児童・生徒を対象にした、舞台芸術鑑賞会「いきいき芸術体験教室」が実施されています。

この取組は、生の舞台芸術に接することによって、児童・生徒の豊かな創造性や情操の涵養や健全育成を図ることを目的としています。



大畑小では、毎年必ず申込をしています。**本物に触れることは、子どもたちの成長にとっても大切だと考えているからです。**

幸いなことに、ほとんどはずれることがなく、毎年のように実施できています。今年は、清和文楽人形芝居を鑑賞できることになりました。

文化的行事の担当の溝口先生が、県や清和文楽の方と何度もやりとりをして11月22日(月)に実施できました。

清和文楽とは、大和町清和地区に伝わる人形浄瑠璃芝居です。

文楽とは「太夫」「三味線」「人形遣い」の3役で行われる伝統芸能です。

太夫として一人前に声が出せるようになるのは50歳からだそうです。また、少なくとも10年以上の修行が必要だそうです。腹の底から出される声の迫力に、圧倒されました。

また、人形遣いの方には80歳を過ぎた方もいらっしゃって、「日々修行」だとおっしゃっていました。本物の奥深さを感じずにはいられませんでした。



当日は「むじな」と「雪女」が上演されました。

昔の言葉が使われているので、子どもたちには少し難しいかなと思っていましたが、熱心に鑑賞している姿を見て嬉しくなりました。

上演の合間には、清和文楽についての分かりやすい説明もあり、子どもたちも理解しやすかったようです。

子どもたちの感想を少し紹介します。

- 人形遣いの方が人形の手や足を動かしていらっしゃるの、本当に人形が生きているみたいでした。
- 三味線や太夫が加わっているので、本を読むより迫力がありました。
- 最初は語る人が何を言っているのか分からなかったけど、お話を聞いているうちに何となく分かるようになってきました。
- それぞれの役割の人たちが一心同体動いていたので、すごいチームワークだなと思いました。ぼくも清和文楽の人たちみたいに、野球でチームワークを心掛けたいと思いました。
- 清和文楽を見てチームワークの大切さを学びました。私たちは遊ぶときけんかをしてしまうことがあるので、もっとチームワークを深めていきたいです。

子どもたちは清和文楽のすばらしさを学ぶとともに、見ている自分の成長に気付いたり、学びを自分たちの生活に活かそうと考えたりしています。まさに本物のもつ力だと感じました。



こども王国保安官の皆様 いつもありがとうございます

11月20日(土)に人吉市こども王国保安官創立15周年記念式典が行われました。
15年もの間、子どもたちの登下校をやさしく見守ってくださっています。



子どもたちの命を守るために、暑い日も寒い日も雨の日も早朝から活動いただき、感謝申し上げます。

大畑地区のこども王国保安官の様は、毎日次のような活動をしてくださっています。

- ・児童生徒の登下校等の時間の見守り
- ・あいさつ運動
- ・交通安全に関する指導
- ・地域のパトロール
- ・不審者の発見、通報

今回は、毎月交代で子どもの交通指導をしてくださっている保護者の方からのこども王

国保安官の皆さんへの感謝の言葉を掲載いたします。

- 毎朝、保安官の方にはお世話になっています。本当にありがとうございます。
- 保安官さんのおかげで学校に安全に行けています。ありがとうございます。
- 保安官さんにはいつもお世話になっております。ありがとうございます。
- 竹を振り回していたので、保安官さんに注意されていました。保安官の皆様の毎日の見守りに感謝です。
- 子どもたちも大きな声であいさつをしてくれました。保安官に感謝しております。
- 子ども見守りのおじいちゃんおばあちゃんには、いつもいつも感謝しております。

これからもご自愛いただき、子どもたちの安全と安心のために力を貸していただけるとありがたいです。

すごいで！ 縦割り班掃除



新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせていたので、以前から取り組みたかった縦割り班掃除に取り組みました。

11月8日から11月19日まで実施しました。

企画・指導の中心となったのは、環境担当の永野先生です。

結論から言えば、この取組は**大成功でした**。

私がいつ回って行っても、一人一人が黙々と掃除に取り組んでいました。しかも、いつもはできていない場所まできれいに掃いたり、ふいたりして、とても学校がきれいになりました。

何よりの収穫は、高学年が低学年に指示を出し、低学年は言われたことに一生懸命取り組んだことです。上級生と下級生の関係が深まりました。

この取組が成功したのは、5・6年生のがんばりが大きいと思います。下級生もそれぞれの力を発揮してくれました。先生方もそれぞれの場所で子どもたちと一緒に汗を流していました。師弟同行の姿が見られ、チーム大畑で、広い大畑小学校をきれいにする事ができました。今後、縦割り班掃除を年間計画に取り入れていこうと考えています。